

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	社 会（公民的分野）
-----	------------

発行者	総合的な所見
東 書	<p><b>(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着</b></p> <p>①見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」の項目で示している。</p> <p>②部活動を例に、「2年前の学校でのトラブルについて考えよう」「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。</p> <p>③本文「主権国家には、その国を象徴する国旗や国歌があり、歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成11）年に国旗国歌法を制定し、日章旗を国旗、『君が代』を国歌と決めました。国どうしが尊重し合うために、各国の国旗・国歌を大切にしなければなりません。」と記載している。</p> <p><b>(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫</b></p> <p>①大単元の導入において、興味・関心を高める問いや資料を絵図や表・グラフを活用して示している。各章の導入部分で、単元全体を貫く「探求課題」を設定している。「探求課題」を立てる活動で単元全体の学習に見通しを持たせている。</p> <p>②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。中学生が取り組んでいる身近な事例などからより興味を抱かせている。持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。「持続可能な社会」形成のために解決すべき課題を5つのテーマの中から設定し、資料を集め、アクションプランの形でレポートにまとめさせている。</p> <p><b>(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量</b></p> <p>①総ページ数は255ページで、全体を5章構成とし、各章を3～5節に分けている。総節数は17節である。</p> <p>②『スキルアップ』『みんなでチャレンジ』として、計30項目を設定し、個人・グループの活動が提示されている。「政治参加をしてみよう」では、身近な地域の課題の把握・解決を通して考えを深めるとともに、まちづくりに参加する意識を育てられる活動が記載されており、効果的である。</p> <p><b>(エ) 第4の観点 内容の表現・表記</b></p> <p>①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(55)、写真(122)、地図(3)、表・グラフ(53)、新聞(12)、年表(2)、文書資料(12)、計259点を掲載している。</p>

②ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

① まとめの活動

「導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面から考えました。A市、B市、C市から1か所選んで、あなたが出店した店で売る弁当について(1)～(6)を考えましょう。」とし、ウェビングを使って消費者のニーズを考え、商品開発の方針を立て、企画を発表し合い、「効率」や「公正」、「希少性」、「持続可能性」の観点から見て企画書をまとめる活動が記載されており、思考を深めるのに有効である。

**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ①見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」の項目で示し、タイトルの横に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「これからの地方自治」とサブタイトルを示している。
- ②合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。
- ③本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、『日章旗（日の丸）』を国旗、『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げるとは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」と記載している。

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ①大単元の導入において、興味・関心を高める資料を掲載している。各章の導入部分で、学習の見通しとして、各節のテーマを示し、何を学ぶのかを示している。これから学習する章全体の内容や学習のねらい、学習する際の視点を捉えさせている。
- ②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。持続可能未来のために私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成する中で、持続可能未来を実現するための探求の方法をSDGsの視点から掲載している。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ①総ページ数は264ページで、全体を6章構成とし、各章を2～4節に分けている。総節数は17節である。
- ②『言葉で伝え合おう』『公民の技』として、計16項目を設定し、収集した情報を批判的に読み取り、検証していく活動が提示されている。「まちづくりのアイデアを提言しよう」では、身近な地域の課題の把握から解決するための提案までの流れが示されており、考えを深めるのに効果的である。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(54)、写真(116)、地図(5)、表・グラフ(64)、新聞(5)、年表(3)、文書資料(8)、計255点を掲載している。
- ②ユニバーサルデザインフォントを使用している。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

①学習のまとめと表現

3 第4章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。

第4章「私たちの暮らしと経済」全体のテーマ

「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」とし、自分自身と経済活動がどのように関わっているか、100字程度の文章にまとめ、これからの経済活動とはどうあるべきかを考え、課題や新たに出てきた疑問、さらに調べたいことを書き出す活動が記載されている。

**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ①見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」の項目で示している。
- ②「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。
- ③本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」と記載している。

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ①大単元の導入において、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各章の導入部分で、学習課題を示し見通しをもたせている。
- ②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「持続可能な社会」形成のために何をすべきかというレポートを作成し、社会的な課題を解決する方法を探求させている。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ①総ページ数は235ページで、全体を4部構成とし、各部を章・節に分けている。総章数は8章で総節数は14節である。
- ②『アクティブ公民』『技能をみがく』として計20項目が設定され、ディベートやロールプレイングなど、課題の把握・解決に向けて効果的な活動を記載している。「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」では、自分が住むまちの予算案を考え、思考ツールを用いて意見を整理・発表する活動が示されている。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(45)、写真(81)、地図(1)、表・グラフ(54)、新聞(7)、年表(2)、文書資料(4)、計194点を掲載している。
- ②ユニバーサルデザインフォントを使用している。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

- ①章の学習を振り返ろう
  - 2 見方・考え方を働かせて考えよう
    - 「ステップ1 自分の考えを整理しよう」「ステップ2 意見交換を通して自分の考えを深めよう」「ステップ3 章の問いへの答えを理由と

ともに考えよう」とし、自分の考えを理由とともに説明し、グループで意見交換し、考えを深める活動が記載されている。

**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ①見開きごとに、タイトルを「私たちの暮らしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治と国の関係」「地方自治と私たち」の項目で示している。
- ②「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法について考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。
- ③本文「(前略)すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で『日章旗』を国旗、『君が代』を国歌としています。」と記載している。

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ①大単元の導入において、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各編の導入部分で、学習内容についての課題を設定し、見通しを示している。
- ②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「持続可能な社会」のためにこれからの社会をどうしたいかというレポートを作成し発表するなかで、持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ①総ページ数は257ページで、全体を5編構成とし、各編が2～4節に分かれている。総節数は15節である。
- ②『アクティビティ』『明日に向かって』『チャレンジ公民』として、計50項目が設定し、チャートやグラフの作成、話し合いの活動を記載している。「自分たちのまちの首長を選ぼう」では、まちの課題把握、公約づくり、投票する活動が示されている。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(62)、写真(106)、地図(3)、表・グラフ(66)、新聞(10)、年表(1)、文書資料(14)、計262点を掲載している。
- ②ユニバーサルデザインフォントを使用している。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

- ①学習の整理と活用  
ニュースを「見方・考え方」から見てみよう  
「①労働組合が、給料などの労働条件について使用者と交渉する権利を、なんというでしょう。②福井市が、職員の給料を削減しなければならなかった理由を、「希少性」の語句を使って説明してみましよう。③

	<p>どのような対立があり、どのように合意したか、まとめましょう。」とし、自分の考えを根拠とともに説明する活動が記載されている。</p>
--	--



**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ①見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」の項目で示している。
- ②部活動を例に、文章で「体育館使用問題①ー対立」「体育館使用問題②ー合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③ー合意形成後の対立」「体育館使用問題④ー決まりをつくる」の順で示している。
- ③本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ①大単元の導入において、興味・関心を高める資料を掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。
- ②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「持続可能な日本社会をつくるため私たちに何ができるか」というテーマの卒業論文を作成するなかで、持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ①総ページ数は258ページで、全体を7章構成とし、各章が2～4節に分けられている。総節数は16節である。
- ②『もっと知りたい』として、21項目を設定し、テーマごとに問いかけを記載している。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(22)、写真(77)、地図(1)、表・グラフ(16)、新聞(4)、年表(0)、文書資料(2)、計122点を掲載している。
- ②円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

- ①学習のまとめと発展  
「第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。」とし、5つのテーマから1つを選んで、学習したことを生かしながら考えをまとめる活動が記載されている。

**(ア) 第1の観点 基礎・基本の定着**

- ①見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」の項目で示している。
- ②「昼休みのグラウンド使用について考えよう」という課題を、絵図で示している。
- ③本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」と記載している。

**(イ) 第2の観点 主体的に学習に取り組む工夫**

- ①大単元の導入において、興味・関心を高める資料や説明文を掲載している。各章の導入部分で、「学習するにあたって」を設定し、各章で考えることを示している。
- ②持続可能な社会の形成に関わる課題例を掲載している。「よりよい社会」を築いていくための国づくり構想のレポート作成し、持続可能な社会を実現するための探求の方法を掲載している。

**(ウ) 第3の観点 内容の構成・配列・分量**

- ①総ページ数は248ページで、全体を5章構成とし、各編が2～4節に分けられている。総節数は14節である。
- ②『学習を深めよう』『やってみよう』として、計24項目を設定し、シミュレーション活動や話し合いの活動を記載している。「政治のこれから」では、自分の住むまちの特色と課題を調べ、グルーピングやランキングなどの思考ツールを用いて考えを深める活動を記載している。

**(エ) 第4の観点 内容の表現・表記**

- ①「私たちと政治」における資料の種類は、絵図(43)、写真(105)、地図(3)、表・グラフ(36)、新聞(17)、年表(1)、文書資料(37)、計242点を掲載している。
- ②円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切っている。

**(オ) 第5の観点 言語活動の充実**

①経済のこれから

「1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみましょう。」

「2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを経営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を社員みんなで考えて、作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、SDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみましょう。」とし、話し合い活動やポスターツアーが記載されている。